

太陽 (2015)

メディア 映画

ジャンル ドラマ S F 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 129分

初公開日 2016/04/23

公開情報 KADOKAWA

映倫 PG12

【キャッチコピー】

人は選ぶのか、
選ばれるのか

【解説】

前川知大が主宰する劇団イキウメの同名舞台劇を「SR サイタマノラッパー」「ジョーカー・ゲーム」の入江悠監督が映画化した近未来SFドラマ。バイオテロで人口が激減した近未来の日本を舞台に、進化した新人類と抑圧される旧人類が共存する社会で繰り広げられる若者たちの葛藤と青春模様を綴る。主演は「バクマン。」の神木隆之介と「愛の渦」の門脇麦。

21世紀初頭の日本。バイオテロによる謎のウイルスの拡散で世界の人口は激減し、生き残った人類はウイルスの感染を克服した新人類と旧人類に2分した。新人類は“ノクス”と呼ばれ、心身共に進化し高度な社会を構築するが、太陽の下では生きられないという弱点を抱えていた。一方、“キュリオ”と呼ばれる旧人類は、太陽の下で自由に生きられるものの、ノクスに管理され、貧しい生活を強いられていた。20歳までの若者にはノクスへの転換手術を受けられるチャンスがあったが、ある時、キュリオの暮らす村でノクスが惨殺される事件が起こり、その村では厳しい経済封鎖を受けるとともに、転換のチャンスも奪われてしまう。それから10年、キュリオの青年・奥寺鉄彦は、村での鬱屈した生活にやり場のない怒りを抱える日々。その幼なじみの生田結は、かつて母親が自分と父を捨ててノクスに転換したことでノクスへの憎しみを募らせていた。そんな中、10年ぶりに経済封鎖が解かれ、ノクスへの転換手術の募集も再開される。ノクスに憧れる鉄彦はすぐさま応募し、期待に胸を膨らませるのだったが…。

【クレジット】

監督	入江悠
製作	梶中達郎 井上伸一郎
エグゼクティブプロデューサー	原田知明 堀内大示
プロデューサー	遠藤日登思 小林剛 澤岳司
ラインプロデューサー	佐藤圭一郎
原作	前川知大
脚本	入江悠 前川知大
CGプロデューサー	鈴木伸広
CGディレクター	土井淳

撮影	近藤龍人	
美術	古積弘二	
音響効果	渋谷圭介	
	佐藤祥子	
音楽	林祐介	
音楽プロデューサー	和田亨	
照明	藤井勇	
装飾	鈴木高正	
録音	小宮元	
スタイリスト	瀬瀬春樹	
ヘアメイク	望月志穂美	
助監督	松尾崇	
出演	神木隆之介	奥寺鉄彦
	門脇麦	生田結
	古川雄輝	森繁富士太
	綾田俊樹	
	水田航生	
	森口瑤子	Youko Moriguchi 曾我玲子
	高橋和也	
	木原勝利	
	山田日向	
	渡邊空美	
	関根航	
	村上淳	奥寺克哉
	中村優子	
	古舘寛治	生田草一
	鶴見辰吾	曾我征治